



日本放射線技術学会中部部会

《 第 51 回画像研究会 》のお知らせ

『Digital mammography における  
ディスプレイのメリットと被ばく低減の最前線』

画像研究会代表世話人 市川 勝弘、國友 博史

第 51 回画像研究会は、講演形式にて「Digital mammography におけるディスプレイのメリットと被ばく低減の最前線」をテーマに開催します。Full field digital mammography (以下、FFDM) の登場によって、film-screen system で撮影していた頃の撮影理論とは異なる手法が良いとされつつあり、また、ソフトコピー診断が主流となりつつあります。今回の画像研究会では FFDM 全般にわたる近年提唱されている新たな手法について紹介します。

なお、技術学会会員・非会員を問わず、参加可能ですので、多数の参加をお待ちしています。

日時：平成 25 年 11 月 3 日(日) 14 時 00 分～17 時 00 分

会場： 金沢大学医薬保健学域保健学類 4 号館 2 階 4202 室

バス 金沢駅東口 3 番乗り場発

11 東部車庫・金沢東高校・金沢学院大学行き 木立野下車

会費 無料, 事前参加登録 不要

1. Digital mammography のソフトコピー診断に向けて

「Digital Mammography におけるディスプレイのメリット」

金沢大学医薬保健学域保健学類 量子医療技術学講座 市川 勝弘 教授

2. 被ばく低減ための高電圧化の有用性

2-1 高電圧化による基本特性について

金沢大学病院 放射線部 森下 あゆ美 氏

2-2 CdTe 型フォトンカウンティングマンモグラフィを用いた被曝低減のシミュレーションによる検討

名古屋大学大学院 医学系研究科 山崎 美咲 氏

3. photon counting mammography の臨床技術について

～低線量撮影システムとして、有用性と被ばく線量～

キヤノンライフケアソリューションズ 中澤 雅美 氏

4. Tomosynthesis の臨床技術と基本特性について

名古屋市立大学病院 中央放射線部 細谷 香織 氏

\*問合せ先:名古屋市立大学病院 國友まで

E-mail ; rakunny"AT"med.nagoya-cu.ac.jp

"AT"を@に変換してください。

